

【2025年度 技術賞部門賞(喜ばれる技術)】

万博アクセス輸送の取り組み ～大阪環状線弁天町新駅舎など～

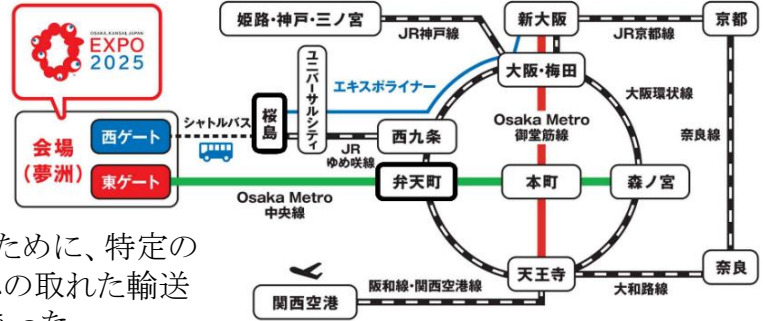
西日本旅客鉄道株式会社 / 大鉄工業株式会社 /
ジェイアール西日本コンサルタンツ株式会社

事業概要

<背景> 2025年大阪・関西万博は、大阪市臨海部の人工島である「夢洲」にて、2025年4月～10月までの期間に開催された。会場が人工島であることから、アクセスルートが限られており、多くの来場者を安全・円滑に輸送するために、特定の交通手段や経路に集中しないバランスの取れた輸送計画を各交通事業者が立てる必要があった。

<事業内容> 2025年大阪・関西万博に向け、多くの来場者を安全かつ円滑に輸送するため、弁天町駅改良工事、JRゆめ咲線ルート強化など、鉄道ネットワークを活かした万博アクセス向上、および多様な鉄道サービスによる利便性向上を図る。

<課題となっていた点> 万博開業という工程遅延が許されない状況において、駅改良工事を期限までに確実に完遂させる必要があった。また、万博来場者を含む多数のお客様が安全かつ円滑に施設を利用できるよう、ハード・ソフト両面の整備を進める必要があった。



技術の概要

【喜ばれる技術】

・弁天町駅連絡通路新設

大阪メトロとJRとの新たな乗換動線として連絡通路を整備。万博時の乗換え旅客の安全性を確保および移動の円滑化を図った。

・桜島駅改良工事

万博開催中ピーク時間限定で営業を行う出場専用駅舎を整備。万博時の鉄道からシャトルバスへの乗換え旅客の安全性を確保した。

・JRゆめ咲線輸送力強化のための西九条駅付近における渡り線新設

1時間当たり最大9本の運行から12本に増やせるよう、西九条駅の改良工事を実施。これにより新大阪駅と桜島駅間を結ぶ「エクスポライナー」の運行が可能となった。



弁天町駅連絡通路



桜島駅改良工事後 現地写真

成果

万博開幕に向けて準備を進め、他交通事業者等と連携を図りながら、万博来場者を含むお客様の安全確保を最優先に、鉄道ネットワークを活かした万博アクセス向上を実現した。



エクスポライナー



桜島駅 連絡通路内観



弁天町駅中央駅舎東面